

年中 なつみかん



園庭の木に黄色い果実がたくさん実っています。ひとつ花壇に落ちていたので、みんなで拾って試食してみることにしました。

おうちで食べるみかんと比べて、まずは皮をむくのに挑戦した子は「んーむりだ、かたい！」

お手伝いで私が皮を剥いていると、「ねえ、てあらった？」「わたしきれいだからだいじょうぶ」「それはめにみえないばいきんがいるんだよ」「ねえ、あらいにいこ！」そんなやりとりを友達同士でして一斉に手を洗いに走ります。

戻ってくると、順番にきれいになった少し濡れた手をこちらに向かって差し出して待っている様子がほほえましかったです。

食べてみると「すっぱい」「あまい」「にがい」「おいしい」食べていくうちに意見を出し合い、房の方が少し苦くて中は甘いことが分かりました。おかわりする子もいたので、おいしいようです。

「せんせい、みて」食べたい子が集まって群がる様子を見て、「みかんやさん」の看板を作ってくれました。「残念ながら、みかん終わってしまったのよ」と伝えるとまたしばらくして見せに戻ってきた看板の裏には「みかんやさんおわりです。すいませんでした」との表示。

見せてもらった時は、笑ってしまいましたが、このみかんひとつから、手を洗うことや順番を待つこと、はたまた食べていない友達を呼びに行ったり、看板を作ってみたり・・・たくさんの育ちと共にほほえましいエピソードに出会いました。